

## 第四次産業革命スキル習得講座 修了時実施状況報告書(令和7年度実績)

令和7年度の認定講座の運営状況について、下記のとおり、修了時のアンケート結果を報告します。

調査対象講座の名称	AR/VR専門家育成プログラム
認定講座番号	50511-1110

### (1) 講座の開催状況

①令和7年度内の開講回数(うち、すべてオンラインで実施した回数)	1(0) 回	→「0回」と回答した事業者は(3)へ
②令和7年度内の受講者数(うち、すべてオンラインでの受講者数)	73(52) 人	
受講生の属性	男性	57 人
	女性	16 人
	その他・回答なし	0 人
③令和7年度内の修了者(うち、すべてオンラインでの修了者数)	73(52) 人	
修了者の属性	男性	57 人
	女性	16 人
	その他・回答なし	0 人

受講者の性別ごとの人数を記載してください。性別を把握されていない場合、空欄として差し支えありません。

修了者の性別ごとの人数を記載してください。性別を把握されていない場合、空欄として差し支えありません。

※修了者のうち、都道府県別の修了者数を把握している場合、こちらに内訳を記載してください。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		73 人	
② 受講開始時の就業状況等(問1)	1 正社員	70 人	②A: 就業者計 ※( )は氷河期世代内数計 70 ( 0 )
	うち、就職氷河期世代 (令和7年4月1日時点で39～54歳)	0 人	
	2 非正社員、派遣社員	0 人	
	うち、就職氷河期世代 (令和7年4月1日時点で39～54歳)	0 人	
	3 その他の就業(自営業等)	0 人	
	うち、就職氷河期世代 (令和7年4月1日時点で39～54歳)	0 人	
4 非就業者	3 人	②B: 非就業者計	
	うち、就職氷河期世代 (令和7年4月1日時点で39～54歳)	0 人	
③ 就業中の受講者による講座の評価(問2)	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	16 人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 70
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	18 人	
	3 社内外の評価が高まる	7 人	
	4 円滑な転職に役立つ	2 人	
	5 趣味・教養に役立つ	21 人	
	6 その他の効果	5 人	
	7 特に効果はない	1 人	
④ 就業していない受講者による講座の評価(問3)	1 早期に就職できる	0 人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 3
	2 希望の職種・業界で就職できる	2 人	
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0 人	
	4 趣味・教養に役立つ	1 人	
	5 その他の効果	0 人	
	6 特に効果はない	0 人	
⑤ 講座の全体評価(問4)	1 大変満足	49 人	⑤の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 73
	2 おおむね満足	21 人	
	3 どちらとも言えない	2 人	
	4 やや不満	0 人	
	5 大いに不満	1 人	

※年度を跨いで開講している講座については、(2)②の記載にご注意ください。

### (3) (1)①で年度内の開講回数が「0回」となった理由

1. 事業者側の開講準備等が間に合わなかったため (具体的説明)	
2. 募集したにもかかわらず、受講希望者が集まらなかったため (具体的説明)	
3. その他 (具体的説明)	

### (4) 講座の改善状況

実施要項において当該教育訓練の評価及びその改善を継続的に行う仕組みを有することとしており、教育訓練の内容や方法等について改善を行う必要があります。今後カリキュラム等の変更(更新)を予定している場合は、変更内容や変更時期について可能な範囲で記載をお願いします。

なお、記載内容によってはヒアリングを実施させていただく場合もあります。

修了時アンケートで受講生から改善希望として挙げられた項目については即検討を行い、次期開講での改善に向けた対応策を決定しているが、それ以外においても、XR分野はハードのみならず、ソフトウェア(Unity等のエンジン、HMDのSDK等)の進化も非常に早いので、教材自体もメジャーなバージョンや、可能な限り最新バージョンへのアップデート等を適宜行っている。

※本報告書とともに、受講者アンケート(個票)を提出してください。

作成年月日 令和8年4月27日